



新春は心奪われる 2 作品を

2022 年の新春は心躍る 2 作品を上演します。バランシン振付の華やかな『テーマとヴァリエーション』、そして可愛らしい動物の仮面を被って踊るダンサーと軽快な音楽に現代の環境問題に通じるメッセージが込められた、ビントレーの代表作『ペンギン・カフェ』をお贈りいたします。

『ペンギン・カフェ』は、2021 年 1 月の「ニューイヤー・バレエ」で上演予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により公演中止となり、無観客ライブ配信で 2.8 万人を超える方にご覧いただきました。今回、改めて舞台上演でお客様にお届けいたします。

作品介绍

『テーマとヴァリエーション』

振付：ジョージ・バランシン

音楽：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー

出演：米沢 唯、奥村康祐 <1月14日（金）、16日（日）>

柴山紗帆、渡邊峻郁 <1月15日（土）>

20世紀を代表する振付家ジョージ・バランシンの チャイコフスキーの音楽を視覚化した豪華絢爛な傑作

バランシンが1947年に発表した作品で、チャイコフスキーと帝政ロシア・バレエへのオマージュとして知られています。ステップや身体の動きでチャイコフスキーの音楽がより細かく表現され、優美で品格漂う作品です。新国立劇場バレエ団では、2000年の初演以来再演を重ね、アンサンブルの美しさで高い評価を受けています。「見る音楽」と評されるバランシンの振付をご堪能ください。



2012年公演より

『ペンギン・カフェ』

振付：デヴィッド・ビントレー

音楽：サイモン・ジェフス

出演：

【ペンギン】広瀬 碧

【ユタのオオツノヒツジ】木村優里、井澤 駿<1月14日、16日>
米沢 唯、井澤 駿 <1月15日>

【テキサスのカンガルーネズミ】福田圭吾

【豚鼻スカンクにつくノミ】五月女遥 <1月14日、16日>
奥田花純 <1月15日>

【ケープヤマシマウマ】奥村康祐

【熱帯雨林の家族】小野絢子、中家正博 <1月14日、16日>
本島美和、貝川鐵夫 <1月15日>

【ブラジルのウーリーモンキー】福岡雄大



**“サステナビリティ”が浸透した今だからこそ観てほしい！
楽しくもチクリと現代を風刺する傑作バレエ**

元芸術監督のビントレーの代表作のひとつで、とても軽妙洒脱な作品です。80年代に一大センセーションを巻き起こしたワールド・ミュージック・アンサンブル「ペンギン・カフェ・オーケストラ」の音楽を使用。

ウェイター姿で登場するペンギンをはじめ、ねずみ、羊が次々に陽気なダンスを披露していきますが、実はすでに絶滅した動物、あるいは絶滅危惧種ばかり。可愛らしい動物の仮面を被って踊るダンサー、ポップで心地よい音楽で上演される作品の根底には、痛烈な文明批判と現代の環境問題にも通じるメッセージが含まれています。

2021年無観客ライブ配信より

国立科学博物館に『ペンギン・カフェ』の紹介ブースが登場！

今回の上演が、絶滅動物・絶滅危惧動物の危機について考えるきっかけとなることを願い、科学的な側面からも関心や理解を深めていただくため、国立科学博物館のご協力をいただいています。

12月17日（金）より、国立科学博物館 地球館3階にて、『ペンギン・カフェ』紹介ブースが設置されています。なお、国立科学博物館 地球館3階<大地を駆ける生命>では、『ペンギン・カフェ』に登場する、フンボルトウーリーモンキーやビッグホーン等の剥製も展示されています。

紹介ブースの様子（昨年度の様子）



スタッフプロフィール

【テーマとヴァリエーション 振付】 ジョージ・バランシン George BALANCHINE



1904年サンクトペテルブルグ生まれ。帝室バレエ学校に学ぶ。21年に国立オペラ・バレエ（現マリインスキー劇場バレエ）に入団、前衛振付家として頭角をあらわす。並行して、ペトログラード音楽院で音楽理論とピアノを学んだ。24年同僚ダンサーと巡業中だったパリで、ディアギレフのバレエ・リュスに入団する。29年に同団が解散するまで、『アポロ』『放蕩息子』など10作を振付けた。33年に渡米、リンカン・カーステイン等とスクール・オブ・アメリカン・バレエを開校する。48年に発足したニューヨーク・シティ・バレエを終生の活動拠点とし、アブストラクト・バレエを主体とする、スピード感溢れる清新なスタイルを確立した。アメリカを代表する振付家であるだけでなく、20世紀の最も重要な振付家の一人。83年ニューヨークにて死去。

【ペンギン・カフェ 振付】 デヴィッド・ビントレー Sir David BINTLEY



英国ハダーズフィールド生まれ。英国ロイヤルバレエ学校で学ぶ。1983年から93年の間、サドラーズウェルズ・ロイヤルバレエや英国ロイヤルバレエの振付家として活躍。その見事な振付はアシュトンやマクミランの流れを引く。93年にフリーランスになった時には、世界中の7カンパニーから新制作依頼が殺到した。その中にはミュンヘン・バレエの『コンプリート・コンサート』（94年）、シュツットガルト・バレエ団のために振付けた『エドワード2世』（95年）などがある。95年から2019年までバーミンガム・ロイヤルバレエ芸術監督を務める。その後も『アーサー王』『美女と野獣』『シラノ』『テンペスト』などの新しい作品を創作している。『E=mc²』は2010年にサウス・バンク・ショー・アワードを受賞、またローレンス・オリヴィエ賞にノミネートされた。01年大英帝国勲章（CBE）を受勲、20年ナイトの称号を授与される。10年から14年まで新国立劇場舞踊芸術監督を務め、新国立劇場バレエ団のために08年に『アラジン』、11年『パゴダの王子』を振り付け、好評を得た。

【指揮】 富田実里 TOMITA Misato



国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業、桐朋学園大学音楽学部にて指揮を学ぶ。堤俊作、湯浅勇治、松沼俊彦に師事。2013年日本バレエ協会『ドン・キホーテ』でバレエ指揮者デビュー。その後、イングリッシュ・ナショナル・バレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエの客演指揮者として『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『海賊』『コッペリア』『大地の歌』『ラ・シルフィード』『美女と野獣』を指揮したほか、井上バレエ団、NBAバレエ団、東京バレエ団の公演で指揮を務め好評を得る。また、指揮者の活動以外にも様々な分野でピアニストとして活躍の場を広げている。新国立劇場バレエ団では、数々のバレエ公演で副指揮者を務め、現在レジデント・コンダクター。『シンデレラ』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『アラジン』『ドン・キホーテ』『ペンギン・カフェ』『コッペリア』『白鳥の湖』を指揮した。今後は『くるみ割り人形』『エデュケーショナル・プログラム vol.1』『不思議の国のアリス』も指揮する予定。

※当初指揮を予定していたポール・マーフィーは、オミクロン株に対する政府の水際対策の強化により来日ができなくなりました。

キャストプロフィール

井澤 駿 IZAWA Shun <プリンシパル>



群馬県出身。関田和代、菅居理枝子、田中洋子に師事し、2014年新国立劇場バレエ団に入団。同年F.アシュトン『シンデレラ』で主役デビューを果たし、17年プリンシパルに昇格。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』『ライモンダ』などの古典やR.プティ『こもり』、P.ダレル『ホフマン物語』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ロメオ、D.ピントレー『アラジン』ランプの精・ジーンなどを踊っている。18年中川鋭之助賞、20年舞踊批評家協会新人賞。

奥村康祐 OKUMURA Kosuke <プリンシパル>



大阪府出身。母・地主薫に師事し、09年モスクワ国際バレエコンクールで銀賞受賞。翌年文化庁芸術祭新人賞を受賞。12年新国立劇場バレエ団に入団し、13年『ドン・キホーテ』にて主役デビュー。16年よりプリンシパル。古典作品やD.ピントレー『アラジン』、R.プティ『コッペリア』、M.フォーキン『ペトルーシュカ』主役のほか、W.イーグリング『くるみ割り人形』ねずみの王様、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのルイス・キャロルなどを初演している。10年文化庁芸術祭新人賞、14年舞踊批評家協会新人賞、16年中川鋭之助賞。

小野 絢子 ONO Ayako <プリンシパル>



東京都出身。小林紀子バレエアカデミー、新国立劇場バレエ研修所を経て、2007年に新国立劇場バレエ団に入団。08年『アラジン』の主役に抜擢され、その後もほとんどの作品で主役を踊る。11年プリンシパルに昇格。13年『アラジン』、14年『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤルバレエにゲスト主演した。11年芸術選奨文部科学大臣新人賞および舞踊批評家協会新人賞、14年服部智恵子賞、16年橘秋子賞優秀賞、19年芸術選奨文部科学大臣賞。

福岡雄大 FUKUOKA Yudai <プリンシパル>



大阪府出身。ケイ・バレエスタジオ、チューリッヒ・バレエ団を経て2009年新国立劇場バレエ団に入団。劇場デビューとなる『ドン・キホーテ』で主演し、以降ほとんどの作品で主役を踊る。12年よりプリンシパル。D.ピントレー『アラジン』、『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤルバレエにゲスト主演した。17、19年ダンス公演中村恩恵『ベートーヴェン・ソナタ』でも高い評価を得る。11年中川鋭之助賞、13年舞踊批評家協会新人賞、18年芸術選奨文部科学大臣新人賞。

米沢 唯 YONEZAWA Yui <プリンシパル>



愛知県出身。塚本洋子バレエスタジオ、サンノゼバレエ団を経て、2010年に新国立劇場バレエ団に入団。11年『パゴダの王子』で初主役を務め、13年プリンシパルに昇格。初演した主な役にはW.イーグリング『眠れる森の美女』オーロラ姫、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのアリス、森山開次『竜宮 りゅうぐう』プリンセス亀の姫などがある。17年芸術選奨文部科学大臣新人賞、18年舞踊批評家協会新人賞、20年芸術選奨文部科学大臣賞、橘秋子優秀賞ほか受賞多数。

渡邊峻郁 WATANABE Takafumi <プリンシパル>



福島県出身。鈴木寿雄のもとでバレエを始める。2009年モナコ・プリンセス・グレース・ダンスアカデミーを首席で卒業し、仏トゥールーズのキャピトルバレエ団に入団。K.ベラルビ『美女と野獣』ほかに主演。16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、19年プリンシパル昇格。古典作品の主演やC.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのジャック、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ロメオ、『マノン』レスコー、中村恩恵『ベートーヴェン・ソナタ』ゲーテ/シラー、「Shakespeare THE SONNETS」などを踊り好評を博している。

本島美和 MOTOJIMA Miwa <プリンシパル・キャラクター・アーティスト>



東京都出身。牧阿佐美、三谷恭三、豊川美恵子、ゆうきみほに師事する。豊川美恵子エコールド・バレエ、橘バレエ学校を経て2000年牧阿佐美バレエ団に入団、01年に新国立劇場バレエ研修所に第一期生として入所し、03年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。05年の新制作『カルメン』で初めて主演に抜擢され、『ドン・キホーテ』『ジゼル』『くるみ割り人形』、ビントレー『アラジン』、プティ『こうもり』などで数多くの主演を務めるほか、重要な役を踊る。出演したCMでの演技力が評価され、ACC CM フェスティバルの演技賞を受賞。11年プリンシパルに昇格。06年橘秋子賞スワン新人賞を受賞。21年プリンシパル・キャラクター・アーティストに移行。

貝川鐵夫 KAIKAWA Tetsuo <プリンシパル・キャラクター・アーティスト>



兵庫県出身。平櫛バレエ姫路、潮田弘子バレエ研究所、ワガノワバレエ学校、モナコ・プリンセスグレース・アカデミーで学び、2000年新国立劇場バレエ団に入団。04年ソリスト、11年ファースト・ソリストに昇格。『白鳥の湖』『ドン・キホーテ』『シンデレラ』主演のほか、石井潤『カルメン』ホセや、マクミラン『ロメオとジュリエット』ではパリス、キャピュレット卿、ティボルトを演じるなど、幅広い作品で重要な役柄を踊る。また、振付作品『フォリア』『カンパネラ』が「ニューイヤー・バレエ」でも上演されるなど、振付家としての活躍も期待される。12年姫路市芸術文化奨励賞を受賞。21年プリンシパル・キャラクター・アーティストに移行。

木村優里 KIMURA Yuri <ファースト・ソリスト>



千葉県出身。泉バレエ塾、橘バレエ学校で学ぶ。新国立劇場バレエ研修所を経て、2015年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。15年『くるみ割り人形』金平糖の精役で主演デビューを果たす。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『ジゼル』やF.アシュトン『シンデレラ』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』で主演を踊り好評を博した。19年ファースト・ソリストに昇格。17年舞踊批評家協会新人賞、20年中川鋭之助賞を受賞。

柴山紗帆 SHIBAYAMA Saho <ファースト・ソリスト>



東京都出身。バレエスタジオDUO、ハリッド・コンサーヴァトリー、ピッツバーグ・バレエシアター・スクールで学ぶ。2014年に新国立劇場バレエ団に入団。15年に牧阿佐美『くるみ割り人形』金平糖の精で主演デビューを果たし、『白鳥の湖』『ラ・バヤデール』『ドン・キホーテ』『ライモンダ』、F.アシュトン『シンデレラ』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』の主演のほか、W.イーグリング『眠れる森の美女』フロリナ王女、P.ダレル『ホフマン物語』オリンピアなど主要な役柄を踊っている。21年ファースト・ソリストに昇格。

福田圭吾 FUKUDA Keigo <ファースト・ソリスト>



大阪府出身。3歳からケイ・バレエスタジオにてバレエを始める。同スタジオで矢上香織、久留美、恵子に師事。2001年こうべ全国洋舞コンクール・バレエ男性ジュニアの部第1位、02年ジャクソン国際バレエコンクールでスカラシップ、03年ローザンヌ国際バレエコンクールでプロフェッショナル・スカラシップを受賞。同年バーミンガム・ロイヤルバレエで研修し、06年新国立劇場バレエ団に入団。09年T.サープの『プッシュ・カムズ・トゥ・ショヴ』でプリンシパルに抜擢され、好評を博し、19年『アラジン』で主役を踊る。10年ソリスト、12年ファースト・ソリストに昇格。古典、現代バレエ、創作を問わず様々な作品で主要な役を踊っている。

奥田花純 OKUDA Kasumi <ソリスト>



福岡県出身。田中千賀子ジュニアバレエ団で田中千賀子、下村由理恵バレエアンサンブルで篠原聖一、下村由理恵に師事する。2010年に新国立劇場バレエ団に入団。14年D.ピントレー『パゴダの王子』さくら姫役で主役デビュー。14年ソリストに昇格。D.ピントレー『アラジン』主演、F.アシュトン『シンデレラ』秋の精、T.サープ『イン・ジ・アッパー・ルーム』、『ドン・キホーテ』キトリの友達／第1ヴァリエーション、『ファスター』闘う、『ホフマン物語』オリンピアなどを踊っている。

五月女 遥 SOUTOME Haruka <ソリスト>



神奈川県出身。佐々木三夏バレエアカデミーで佐々木三夏、池端幹雄に師事する。2010年新国立劇場バレエ団に入団。これまでに牧阿佐美『くるみ割り人形』クララ、D.ピントレー『E=mc²』光速の二乗、F.アシュトン『シンデレラ』春の精／秋の精、『ドン・キホーテ』キューピット、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』アリスの姉妹たち、中村恩恵『O Solitude』『火の鳥』娘、平山素子『Butterfly』などを踊る。14年ソリストに昇格。

中家正博 NAKAYA Masahiro <ソリスト>



大阪府出身。法村友井バレエ学校、ワガノワバレエ学校を経て、2010年牧阿佐美バレエ団に入団。プティ『ノートルダム・ド・パリ』のフロロ役に抜擢され、『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『ジゼル』に主演。15年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、16年『ドン・キホーテ』で主役のバジルを踊った。またF.アシュトン『シンデレラ』王子、P.ダレル『ホフマン物語』リンドルフ、W.イーグリング『くるみ割り人形』ドロッセルマイヤー、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ティボルト『マノン』ムッシューG.M.、M.フォーキン『ペトルーシュカ』ムーア人など様々な役を演じている。

広瀬 碧 HIROSE Aoi <ファースト・アーティスト>



埼玉県出身。クボバレエアカデミー、NBA バレエ学校、新国立劇場バレエ研修所を経て、2010年新国立劇場バレエ団に入団。15年ファースト・アーティストに昇格。P.ライト『白鳥の湖』クルティザンヌ／ナポリの踊り、『ドン・キホーテ』キューピット、W.イーグリング『眠れる森の美女』赤ずきん／サファイア／アメジスト、F.アシュトン『シンデレラ』春の精、D.ピントレー『ペンギン・カフェ』ペンギンなどを踊っている。

公演概要

2021/2022 シーズン

新国立劇場バレエ団「ニューイヤー・バレエ」

テーマとヴァリエーション / ペンギン・カフェ

New Year Ballet

Theme and Variations / 'Still Life' at the Penguin Café

芸術監督 吉田 都

テーマとヴァリエーション

振付：ジョージ・バランシン

音楽：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー

美術：牧野良三

衣裳：大井昌子

照明：磯野 睦

ペンギン・カフェ

振付 デヴィッド・ビントレー

音楽 サイモン・ジェフス

美術・衣裳 ヘイデン・グリフィン

照明 ジョン・B・リード

出演 新国立劇場バレエ団

指揮 富田実里

管弦楽 東京交響楽団

協力 独立行政法人 国立科学博物館

【公演日程】

2021年1月14日（金）19:00

2021年1月15日（土）14:00

2021年1月16日（日）14:00

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、託児サービス、バックステージツアーは当面休止させていただきます。

*ロビー開場は開演 60 分前、客席開場は開演 45 分前です。開演後のご入場は制限させていただきます。

【会場】新国立劇場 オペラパレス（京王新線 新宿駅より 1 駅、初台駅中央口直結）

【予定上演時間】約 1 時間 35 分（休憩含む）

【ウェブサイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/ballet/newyearballet/>

【チケット料金（税込）】

席種	S席	A席	B席	C席	D席	Z席*
料金（税込）	11,000円	8,800円	6,600円	4,400円	3,300円	1,650円

*Z席は舞台のほとんどが見えないお席です。予めご了承ください。

※Z席は、公演当日朝 10:00 から、新国立劇場 Web ボックスオフィス別ウィンドウで開きますおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。1人1枚です。

※上記の方法での先着販売後、残席がある場合は、開演2時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。

※電話での予約は承れません。

【前売り開始日】

アトレ会員先行販売期間：2021年12月4日（土）10:00～6日（月）

新国メンバーズ先行販売期間：2021年12月5日（日）10:00～6日（月）

一般発売日：2021年12月11日（土）10:00～

*感染予防に対応した適切な距離を保つため、1階1列～2列の座席は販売いたしません。

*通常の座席配置（1階1列～2列を除く）での販売を予定しております。

*政府及び東京都の判断により、イベント収容率の制限に変更が生じた場合は、途中でチケットの販売を停止する場合がございます。

【チケットのお求め・お問い合わせ】

<ウェブでの予約・購入>

新国立劇場 Web ボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>（PC、携帯共通）

チケットぴあ <http://pia.jp/t/>（PC、携帯共通）【Pコード：505-961】

イープラス <http://eplus.jp/>（PC、携帯共通）

ローソンチケット <http://l-tike.com/>（PC、携帯共通）【Lコード：39693】

<電話での予約・購入>

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999（10:00～18:00）

チケットぴあ TEL：0570-02-9999

*本公演は新型コロナウイルス感染予防、拡大防止対策をとって上演いたします。

新国立劇場における新型コロナウイルス感染拡大予防への取り組みと主催公演ご来場の皆様へのお願い

https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html